

◆政策1【子育て】

・現状と課題

出生数の低下

三豊市が発足した平成 18 年時の出生数は521人でしたが、平成 28 年には421人になり、減少傾向が続いています。このように少子高齢化が急速に進む中、今後も人口構成を適正に保ち、まちの活力を維持するためにも、少子化に歯止めをかける施策が必要です。

出産・育児に関するニーズの拡大・多様化

出産後も仕事を続ける女性が増え、保育ニーズが拡大する中、保育所の入所希望や学童保育の利用者は増加傾向にあります。子どもを安心して育てる環境づくりとして、子育て支援策や施設の充実が必要です。

母子への切れ目のない支援

市内の病院には産科や小児科がなく、隣接市町の病院に頼っているのが現状です。また、若年出産がある一方で、不妊治療をうける人や高齢出産する人など、出産を巡る状況さまざまです。医療機関から妊産婦へのフォロー依頼も増加しており、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援が求められています。

保育サービスの充実

平成 30 年 4 月現在、本市には、保育所 14(公立 10、私立 1、小規模 3))があり、1164 人(公立 1070 人、私立 94 人)が入所しています。入所申込者数は増加傾向にあるものの、希望する保育所に入所できず認可外保育所に通所する児童もあり、受け皿の確保が急務となっています。働き続けたいと願う女性が増えたことにより、保育ニーズは増え続け、今後更なる保育需要の増加も見込まれることから、保育士確保に向けた、国、地方を挙げての対策が求められています。

不妊・高齢出産によるリスクの高まり

第1子を出産する母親の約2割が35歳以上となっており、不妊治療の助成件数も増加傾向にあることから、安心して出産・子育てするための取り組みが求められています。

家族のあり方(核家族化)

夫婦と子どものみの核家族が増えており、子育てを取り巻く環境が変化してい

ます。夫の子育て参加や、祖父母にも子育てサポートの役目を担ってもらうなどの家族間での協力のほか、さらには地域の協力支援も求められています。

●施策

1. 出産・子育てへの支援
2. 母子の健康ケア
3. 地域による子育て支援
4. 家庭・職場の子育て環境づくり

●施策1 出産・子育てへの支援

◎まちづくり目標

妊娠前から子育て期にわたるまで、さまざまな時期・角度からの切れ目のない支援により、子どもを産み育てやすいまちをつくれます。

◎具体的な取り組み

・子どもを望む夫婦への支援

妊娠・出産を希望する夫婦へ、不妊治療にかかる費用の一部助成を行います。

・子育てにかかる経済的負担の軽減

認可外保育施設利用者への支援、子育て支援事業サービス券の支給、遺児年金の支給など、負担軽減を図る支援を行います。

また、必要な時に必要な医療を受けられるように、医療費の一部助成を行います。

・子育てホームヘルパー・保健師訪問

産前・産後期の家庭へ子育てホームヘルパーや保健師が訪問し、養育に関する相談、指導、助言その他必要な支援を行い、家庭の養育力の育成・向上を支援します。

・児童の一時預かり

保護者が病気や仕事、育児疲れなどで、一時的に児童の養育が困難になったときに、一定期間養育・保護を行います。

・子育て世代包括支援センターの開設

妊娠期から子育て期にわたり、切れ目のない支援を行うために、子育て世代地域包括支援センターを開設し、母子保健や児童相談をはじめ、関係機関との連携の充実を図ります。

◎まちづくりポイント

まちづくりポイント	単位	基準値		目標値
		年度	数値	2024 年度
子育て応援サービス券交付人数	人	29	347	320

◎関連計画

- ・みとよ子ども未来応援計画
- ・みとよすくすく子育てサポートプラン
- ・三豊市健康増進計画

●施策2 母子の健康ケア

◎まちづくり目標

心身における細やかなケアにより、妊娠期から乳幼児期にかけての母子の健康を安定的に保ちます。

◎具体的な取り組み

・母子の健康管理

母子の健康を維持・増進を目的に、妊産婦や乳幼児への健康診査や予防接種、保健師の全戸訪問による健康管理を実施します。

・出産前後の心身のフォロー

育児への相談対応や子育てホームヘルパーの派遣・一時預かりなど状況に応じた支援を行い、出産前後における出産や育児への不安や負担を軽減します。

・産後ケア事業の充実

産後支援を必要とする母子に対して、母体の回復、育児指導等の実施により、育児にかかる心身の負担軽減を図ります。

◎まちづくりポイント

まちづくりポイント	単位	基準値		目標値
		年度	数値	2024 年度
子育てホームヘルプ事業利用者登録申請者数	人	29	46	55
4 か月児健康診査受診率	%	28	100	100
10 か月児健康診査受診率	%	28	97	99
1 歳 6 か月児健康診査受診率	%	28	99	99
3 歳児健康診査受診率	%	28	99	99
予防接種受診率	%	29		

◎関連計画

- ・
- ・

●施策3 地域ぐるみの子育て支援

◎まちづくり目標

地域による子育ての協力体制を整え、子育て施設や交流の場の充実により、地域ぐるみでともに支え合い、助け合えるまちを目指します。

◎具体的な取り組み

・子育て拠点施設の充実

子育て家庭の親と子どもが気軽に集うことができる、語り合いや交流の場として子育て支援センターやつどいの広場を運営します。

施設内に支援専門員を設置し、相談業務、情報提供業務、助言・利用支援等を行います。

・放課後児童クラブ

各小学校単位で放課後児童クラブの設置により、児童の放課後や長期休業中において、家庭に代わる生活の場を確保し、保護者が安心して就労できる環境をつくります。

・ファミリー・サポート・センター

地域のボランティア会員（有償）による保育所や学校への送迎などの一時的・臨時的な子育て援助活動により、地域ぐるみで子育てと仕事の両立を支援します。

また、ボランティア会員向けのスキルアップ講座を開催し、能力研鑽に努めます。

・地域による発達障害児支援

発達障害児を地域で支える体制を整え、適切な支援に向けて関係機関との連携を図ります。

◎まちづくりポイント

まちづくりポイント	単位	基準値		目標値
		年度	数値	2024 年度
つどいの広場実施	箇所	30	4	5
放課後児童クラブの外部委託	箇所	29	9	12
放課後児童クラブ指導員者数	人	29		

◎関連計画

- ・みとよすくすく子育てサポートプラン
- ・みとよ子ども未来応援計画

●施策4 家庭・職場における子育て環境づくり

◎まちづくり目標

家庭や職場において、子育てに対する協力・支援体制を強化し、前向きに子育てに向き合える社会をつくれます。

◎具体的な取り組み

・家庭の子育て力向上

男性の育児力を向上させ、家庭内での女性の子育て負担を軽減するための支援・啓発活動を行います。

また、両親教室などの開催により、協力して子育てを行う家庭づくりに努めます。

・職場環境の整備

企業の子育て支援制度の充実を推進し、子育てと仕事の両立を実現する働き方の改善に努めます。

◎まちづくりポイント

まちづくりポイント	単位	基準値		目標値
		年度	数値	2024 年度

◎関連計画

- ・みとよ子ども未来応援計画
- ・みとよすくすく子育てサポートプラン
- ・第3次三豊市男女共同参画プラン

◆政策2【健康】

・現状と課題

ライフステージに応じた健康づくり

近年、急速な高齢化の進行は、医療費の拡大やロコモティブシンドロームの増加など大きな課題を引き起こしています。

また、少子化やライフスタイルの多様化により、子どもの体力・運動能力は低下し、生活習慣の乱れによる成人のメタボリックシンドローム該当者は増加傾向にあります。

そこで、各世代が抱える健康に関する不安や悩みの解消に向けた取り組みが重要視されています。

こころの健康

私たちは、常にストレスと隣り合わせで日常生活を送っており、こころの健康づくりは身近なテーマとなってきました。

しかし、生涯を通じて5人に1人がこころの病気にかかると言われている今、病気への理解はまだ十分とは言えず、周囲の協力を得ることができなかったり、治療に至らず病状が悪化したりすることも少なくありません。

こころの健康への正しい知識と理解を深め、本人と周囲がストレスサインを見逃さないこと、ストレスとの上手な付き合い方を知ることが健康を保つためには大切です。

健康診査・検診の受診率低迷

平成29年度若年健診受診(20～39歳)は、対象者1,547人中、13人(0.8%)が受診し、40歳代健診受診率は20%と低迷しています。

自分の健康状態を把握し、早期に病気を発見・治療するためには、定期的な健康診査や検診を受けることが不可欠です。

●施策

1. 疾病発症と重症化の予防
2. 正しい生活習慣の推進
3. 心と体の健康づくり

●施策1 疾病発症と重症化の予防

◎まちづくり目標

疾病の未然防止や、早期発見による迅速な対応により、健康を保持した暮らしを目指します。

◎具体的な取り組み

・予防医療の推進

予防接種の実施により、伝染のおそれのある疾病の発症と蔓延を防ぎ、感染症の予防を行うとともに、感染症予防の重要性を啓発します。

また、中高生への中高生への胃ピロリ菌検査および除菌事業を始めとする、がんの一次予防と早期発見のための各種がん検診および健康教育を行います。

・生活習慣病対策の充実

生活習慣病の予防と改善のため、特定健診後の結果説明会及び定期健康相談、病態別健康教育、運動講座を行います。

・重症化対策

健康相談や健康教室の実施により、糖尿病や慢性腎臓病の重症化を予防します。

◎まちづくりポイント

まちづくりポイント	単位	基準値		目標値
		年度	数値	2024 年度
中高生のピロリ菌抗体検査及び除菌療法の同意数割合	%	30	初年度 実施中	85
肺炎球菌感染症予防ワクチン接種率	%	29	59.8	70
特定健康診査の実施率の増加	%	28	43.5	60
特定保健指導対象者数の減少率の増加	%	28	20.5	25

◎関連計画

・三豊市健康増進計画

・みとよすくすく子育てサポートプラン

●施策2 正しい生活習慣の推進

◎まちづくり目標

正しい生活習慣により、健康寿命を延ばし、生涯を通じて健康でいきいきと暮らすことができるまちを目指します。

◎具体的な取り組み

・食生活の改善促進

食生活改善推進員の育成を行い、正しい食習慣や食育の普及に向けた啓発活動を推進します。

また、管理栄養士による特定健康診査や保健指導を行います。

・子ども向け栄養・食事指導

乳幼児健診等において、食に関する指導を行うとともに、子育て世帯向けに離乳食調理教室の開催や栄養相談を行います。

・喫煙・飲酒に関する教育推進

喫煙や多量飲酒による健康被害について、知識を普及させるとともに、禁煙や適正飲酒に向けた相談対応・指導を行います。

◎まちづくりポイント

まちづくりポイント	単位	基準値		目標値
		年度	数値	2024 年度
食生活改善推進員(ヘルスマイト)の人数の増加	人	29	616	増加
食育に関心がある人の割合の増加	%	29	61.3	80

◎関連計画

- ・
- ・

●施策3 心と体の健康づくり

◎まちづくり目標

丈夫な体と安定した心を手に入れ、心身のともに健康でバランスのとれた生活を目指します。

◎具体的な取り組み

・体力づくりの支援

各種運動教室やスポーツ大会の開催と併せて、スポーツ施設の利用を促進し、運動不足を解消することで健康増進を図ります。

・健口生活の推進

歯と口腔の健康づくりを推進するために、正しい知識と普及啓発に努め、生活の質の向上に向けた口腔機能の維持向上を推進します。

・こころの健康づくり

相談体制の強化により、必要な助言や情報提供を行い、こころの健康増進を図ります。

また、特定保健指導等において、ストレス対処法や良質な睡眠についての正しい知識の周知に努めます。

◎まちづくりポイント

まちづくりポイント	単位	基準値		目標値
		年度	数値	2024 年度
運動習慣者の増加(男性)	%	29	22.2	30
運動習慣者の増加(女性)	%	29	12.9	30
睡眠によって休息が十分にとれていない人の割合	%	29	27.2	15%以下
三豊市内自殺者数	人	28	14	4
「こころの相談」相談件数	件	29	41	53
60 歳における 24 歯以上の自分の歯を有する人の割合の増加	%	29	50.8	70
50 歳における歯間部清掃用器具を使用している人の割合の増加	%	29	60.5	70

◎関連計画

・三豊市障害者計画・障害福祉計画

◆政策3【児童福祉・地域福祉】

・現状と課題

要保護児童等への対応

育児中の不安や、経済的・家庭的理由など、さまざまな背景の中で児童虐待相談の件数は減少していない。子どもの健やかな成長のために、問題を抱える家庭を早期発見し、未然防止につなげていく必要がある。

●施策

1. 要支援家庭・児童の保護
2. 子どもの貧困対策
3. 地域福祉の推進

●施策1 要支援家庭・児童の保護

◎まちづくり目標

支援を求める家庭や児童を適正に保護し、子どもを取り巻く問題の解決に努め、子どもの安定的で健やかな成長を目指します。

◎具体的な取り組み

・児童相談

児童家庭相談員による児童虐待などの問題を抱える子どもや家庭に対し、相談対応を行い、子どもに関する問題の解消、児童虐待の未然防止と早期発見に努めます。

・児童虐待防止と早期発見

産前・産後期の家庭への子育てホームヘルパーの派遣や乳幼児の一時預かりなどの実施と住民からの相談により、児童虐待予防や子どもの養育に支援の必要な家庭の早期発見につなげます。

・生活困窮妊産婦への支援

経済的理由により入院助産を受けることができない妊産婦に対し、助産施設への措置入所による出産支援を行います。

・自立・安定に向けた支援

経済的自立や安定的な生活のために、就労支援や資格・技能取得に向けての情報提供や学業・生活資金の補助を行います。

◎まちづくりポイント

まちづくりポイント	単位	基準値		目標値
		年度	数値	2024 年度
三豊市母子福祉連合会構成員	人	30	252	250
母子家庭等自立支援教育訓練給付金 交付人数	人	29	4	5
高等職業訓練促進給付金交付人数	人	30	2	4

◎関連計画

- ・子ども未来応援計画
- ・三豊市地域福祉計画

●施策2 子どもの貧困対策

◎まちづくり目標

子どもの成長の妨げとなる貧困問題を解消し、地域の支えにより子どもの成長を促進します。

◎具体的な取り組み

・子どもの居場所づくり

地域との連携のもと、生活困窮世帯の子どもの対象に、ボランティアによる学習支援や居場所づくりを行います。

・遺児年金の支給

父母またはその一方を死亡等により失った児童の保護者に遺児年金を支給することにより、遺児の健全な育成を助成するとともに、福祉の推進を図ります。

◎まちづくりポイント

まちづくりポイント	単位	基準値		目標値
		年度	数値	2024 年度

◎関連計画

・三豊市地域福祉計画

・

●施策3 地域福祉の推進

◎まちづくり目標

地域全体の福祉が向上するように、地域の手で連携・支援を図ります。

◎具体的な取り組み

・民生委員・児童委員活動の推進

民生委員・児童委員による、市民の立場に立った相談対応や、地域の子どもたちの見守りなどを実施します。

・社会福祉協議会との連携強化

地域福祉を推進する中核的な団体となる三豊市社会福祉協議会の事業運営を支援し、地域における福祉活動を推進します。

・犯罪・非行からの立ち直り支援

保護司や更生保護女性会の活動を支援し、過去に罪を犯した人や非行に走った人たちの更生について理解を深めることで、更生に向けた支援を行いながら、犯罪や非行のない地域社会を目指します。

◎まちづくりポイント

まちづくりポイント	単位	基準値		目標値
		年度	数値	2024 年度

◎関連計画

・

◆政策4【高齢者福祉】

・現状と課題

進行する高齢化

本市の総人口に対する高齢化率は、2017 年は 34.7%であり、2025 年には 36.4%になると見込まれています。2025 年には、団塊の世代が後期高齢者（75 歳以上）となり、後期高齢者の中重度の要介護者の増加が予想されます。本市でも増大する高齢者福祉のニーズに対応しつつ、高齢者が安心して地域で暮らしていくことができるようなサービス等の提供が期待されています。

介護給付費の増大

要介護認定者の増加に伴い、介護給付費は年々増加傾向にあり、多様化するニーズに対応するために効率的・継続的なサービス提供と体制づくりが求められています。

介護保険の安定的な運営や適切なサービス利用に向け、高齢者や家族に介護保険制度の周知、介護予防事業の普及啓発を行う必要があります。

要介護認定の適正な実施のため県や関係機関と連携し研修会の実施等、認定調査員の資質・専門性の向上を図る必要があります。

地域包括ケアシステムの構築

医療・介護(予防)・生活支援サービス等を一体的、継続的に提供し、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるように支援する地域包括ケアシステムの構築を図るとともに、さらに広い視点からは、高齢者・障害者・子どもなどすべての人々が一人ひとりの暮らしと生きがいとともに創り、高めあう社会(地域共生社会)の実現を目指すことが求められています。

交通機関が少ない本市では、交通弱者に対する交通手段の確保を図る必要があります。また、歩道の拡張や段差解消等、すべての人にとって安全な道路・交通環境の整備への取り組みを進める必要があります。

●施策

1. 在宅福祉サービスの充実
2. 介護予防・介護サービスの充実
3. 生きがいづくりと社会参加
4. 高齢者を見守る地域づくり

●施策1 在宅福祉サービスの充実

◎まちづくり目標

多面的・多角的なサポートにより、高齢者にとって自分らしく過ごすことができる日常生活の実現を目指します。

◎具体的な取り組み

・在宅サービスの充実

高齢者が自宅において、安心して衛生的な暮らしを送るための各種生活支援を行います。

・在宅高齢者の見守り体制強化

1人暮らし高齢者で疾患等の理由で注意が必要な場合、地域による見守り体制により、安全・安心な暮らしを確保します。

・福祉タクシー券の交付

福祉タクシー券の発行により、高齢者等の交通手段の確保と経済的負担の軽減を図ります。

◎まちづくりポイント

まちづくりポイント	単位	基準値		目標値
		年度	数値	2024 年度
離島における、要介護者への適切な介護サービスの提供	人(延べ)	29	400	600
介護従事者初任者件数申請件数	人	29	3	10

◎関連計画

- ・第3期三豊市地域福祉計画
- ・三豊市高齢者福祉計画第7期介護保険事業計画
- ・三豊市地域福祉活動計画(三豊市社会福祉協議会が策定)

●施策2 介護予防・介護サービスの充実

◎まちづくり目標

歳を重ねた高齢者の健康を保ち、自立した生活を目指します。

◎具体的な取り組み

・介護サービスの充実

介護ニーズに対応したサービスの提供により、利用者の心身機能の維持向上を図るとともに、家族の身体的・精神的な負担の軽減を図ります。

また、公的介護施設を整備する民間事業者等に対し、適切なサービスの提供を目的とする施設整備を促進します。

・生活管理指導員による介護予防対策

社会適応が困難な高齢者や一時的に養護老人ホーム等に入所する人に生活管理指導員を派遣し、支援・指導・関係機関との連携調整を行い、要介護状態への進行を予防します。

・健康教室の実施

高齢者を対象として、体を使った運動教室やレクリエーションを通じた認知症予防教室などを開催します。

・介護士確保対策

介護サービスの安定供給に向けて、介護資格を取得・市内事業所に就業する者に資格取得に要する経費を一部補助し、人材不足の解消に努めます。

◎まちづくりポイント

まちづくりポイント	単位	基準値		目標値
		年度	数値	2024 年度
介護予防サポーターの登録者数	人(延べ)	29	320	490
転倒予防教室、認知症予防教室の参加延人数	人(延べ)	29	4,900	5,000

◎関連計画

・三豊市高齢者福祉計画第7期介護保険事業計画

・

●施策3 生きがいづくりと社会参加

◎まちづくり目標

高齢者の豊富な経験と知識・能力を有効活用した積極的な社会参加により、社会的孤立感を解消や自立生活の助長・健康維持を目指します。また、心身の健康保持や介護予防につながる交流の場の提供と生きがいづくりを支援します。

◎具体的な取り組み

・高齢者による地域活動の推進

老人クラブの地域の安心安全を支えるボランティア活動・環境美化活動への支援や、日常動作訓練や趣味活動等の各種サービスを提供します。

・ヤングシルバーの活用

シルバー人材センターの運営の補助により、高年齢者の希望に応じ、臨時的かつ短期的な就労機会の提供と、積極的な活用に努めます。

◎まちづくりポイント

まちづくりポイント	単位	基準値		目標値
		年度	数値	2024 年度
介護予防ボランティア養成講座	人	29	322	400
シルバー人材センター会員数	人	29	557	600
三野町はつらつセンター利用者数	人	29	18,000	20,000

◎関連計画

・

●施策4 高齢者を見守る地域づくり

◎まちづくり目標

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域全体で高齢者を支えるまちづくりを行います。

◎具体的な取り組み

・あんしん見守りネットワーク

地域の民間企業や団体と見守り協定を行い、行方不明高齢者の早期発見・保護、孤立死や消費者被害防止等、地域における高齢者見守りの推進を図ります。

・高齢者訪問

一人もしくは夫婦で暮らす高齢者世帯を民生委員・児童委員が定期的に訪問し、安否の確認を行うとともに生活の相談に応じます。

◎まちづくりポイント

まちづくりポイント	単位	基準値		目標値
		年度	数値	2024 年度
高齢者あんしん見守りネットワーク協定	団体	29	5	10

◎関連計画

・

◆政策5【障がい者福祉】

・現状と課題

地域生活を支える支援の充実

障害のある人が地域で自立した生活を送るためには、本人の心身の状態や介助者それぞれに合わせた支援を受けることが必要です。相談支援事業所の数が少ないことが問題視されていますが、平成 29 年度より 1 か所増加し、今後も相談支援事業所や障害者相談支援専門員との連携を強化し、地域全体の相談支援事業を充実させる必要があります。

精神保健の理解促進

現代社会においては、心の健康を保つことが重要になっています。しかし、病気への理解不足や相談することを躊躇することで、福祉や医療へ繋がらない方が多い状態です。早期の対応ができるよう、心の病気に関する知識の普及啓発を図ると共に、精神科への通院が容易になるよう、自立支援医療についてもより広く普及しなければなりません。

障がい者の権利擁護

障害者の自立を阻害する一要である、障害者の権利を侵害する事例が発生しています。その対策として、障害者への差別解消や虐待防止に取り組み、障害者の権利擁護に関する正しい知識・理解を広報します。また、成年後見制度の利用を促進するため、成年後見制度利用促進基本計画の策定作業を行います。

●施策

1. 生活支援の充実
2. 社会参画の推進

●施策1 生活支援の充実

◎まちづくり目標

暮らしにおけるさまざまな支援を通して、障がい者が地域社会の一員として自立し、いきいきと暮らせるまちづくりを行います。

◎具体的な取り組み

・経済的負担の軽減

医療費の自己負担額の軽減や障害福祉サービスの利用促進により、症状の悪化を防止し、健康増進を図ります。

・住まいの環境整備

快適な日常生活を送るための住宅改修を支援します。

・生活支援サービスの充実

それぞれの能力や適性のもと、自立した日常生活・社会生活を送るために、地域特性や利用者の状況に応じ、必要なサービスの提供や相談支援を行います。

・発達障害支援の充実

三豊市発達障害等支援連携会議を中心に、関係機関との連携による相互協力のもと、継続的な発達障害支援を行います。

◎まちづくりポイント

まちづくりポイント	単位	基準値		目標値
		年度	数値	2024 年度
地域生活移行給付決定者	人	29	0	1
精神通院医療受給者数	人	29	658	850

◎関連計画

・三豊市障害者計画・障害福祉計画

●施策2 社会参画の推進

◎まちづくり目標

一人ひとりが特性や状況に応じた働き方を選択し、生きがいが得られることを目指します。

◎具体的な取り組み

・就労の促進

障害を持つ人が地域・社会で自立した暮らしができるように、障害者の特性やニーズに応じた就労支援を行います。

・障害者優先調達の推進

障害者就労支援施設からの物品やサービスの優先的・積極的な調達により、障害を持つ人の就労による社会参画の促進と経済的な自立を図ります。

・地域との交流

交流会やデイケアの実施により、地域との親睦を深めるとともに、社会生活への参画意欲と適応力の向上を図ります。

◎まちづくりポイント

まちづくりポイント	単位	基準値		目標値
		年度	数値	2024 年度
障害者就労施設等からの物品等の調達額	千円	29	13,354	14,100
就労支援サービス利用者数	人/月	29	115	124
デイケア(さくらの会・みつより会)参加者数	人	29	49	75
交流会(カタリ場)参加者数	人	29	50	80

◎関連計画

・三豊市障害者計画・障害福祉計画

・

◆政策6【医療】

・現状と課題

本市の医療機関の現状

市立の医療機関として永康病院、西香川病院、財田診療所、栗島診療所、志々島診療所があるほか、本市と観音寺市が組織する三豊総合病院が観音寺市にあり、それぞれ異なる運営形態ながら、地域医療の拠点となっています。しかし、平成 28 年 10 月現在、市内に 71 施設の医療機関がありますが、医師数は 104 人で、人口 10 万人当たり換算すると 160.2 人と県平均を大きく下回っており、医師の不足が喫緊の課題となっています。

なお、永康病院の常勤医師数は、平成 23 年度の 9 人から平成 28 年度には 6 人と大きく減少しています。

地域医療の確保

超高齢化社会を迎える中で、多様化、高度化する医療や介護等における市民ニーズに的確に対応し、安心、信頼できる地域医療を提供するため、より効率的な医療機関の機能分化、連携が求められています。

市内公立病院の現状

現在の永康病院は、昭和 56 年度の建設以降 36 年が経過し、老朽化が進んでいることから、今後、設備（電気・空調・給排水等）の更新等が必要になります。また、建物に関しては、本館と管理棟が新耐震基準を満たしていない状況です。その他、保有している高額医療機器についても老朽化が進んでいるため、更新による費用の増加が予想されます。法定耐用年数以上に使用している医療機器等が多くあり、これらについても、今後修理や更新等による費用の発生が予測されます。

●施策

1. 地域医療の充実

●施策1 地域医療の充実

◎まちづくり目標

地域において、安心して必要な医療サービスが受けられるよう公的医療機関の充実を図ります。また、第 7 次香川県保健医療計画、香川県地域医療構想を踏まえ、機能分化と連携促進による地域医療体制の確立を図ります。

◎具体的な取り組み

・市立病院の整備

市立病院の整備を行い、市民ニーズに沿った医療の提供に努めます。

・医師確保に向けた取組

積極的な市立病院への医師招へいや、香川県の医師育成制度等の活用により医師の確保に努めます。

・地域内医療機関との連携

地域内病院での機能分化を検討・促進し、さらに三豊総合病院への負担及び連携強化により、身近かつ高度な医療を提供できる体制を構築します。

◎まちづくりポイント

まちづくりポイント	単位	基準値		目標値
		年度	数値	2024 年度
市立の医療施設数	箇所	29	5	
市立の医療施設の病床数	床	29	307	
経常収支比率(経常収益／経常費用 × 100)	%	29	91.8	104.4

◎関連計画

・三豊市新公立病院改革プラン

◆政策7【社会保障】

・現状と課題

国民健康保険の状況

人口減少とともに被保険者数も毎年約 3%減少する中、65 歳以上の被保険者は年々増えており、平成 28 年度の全体に占める割合は約 50%と高齢化が進んでいます。また一人あたりの保険給付費は毎年約 3%増加傾向にあり国保財政は厳しい状況にあります。医療の高度化、被保険者の高齢化などから今後もこの傾向が続くとみられます。

安定的で健全な運営のため、被保険者の健康維持を図り保険給付及び保険税の賦課・徴収の適正化に努めます。

後期高齢者医療制度、国民年金

75 歳以上のすべての高齢者が加入する後期高齢者医療制度は、香川県広域連合が保険者となっており、保険料の徴収事務や各種申請、被保険者証の引渡し等の窓口事務を市が行っている。市民への制度の周知や高騰する医療費の抑制を図るための取り組みが必要です。後期高齢者医療制度の適正な運営の支援を行います。

国民年金において、少子高齢化に伴い財源の確保が大きな課題となっていますが、高齢者の生活の支えとなる重要な制度であることから、今後とも正しい理解の浸透に努める必要があります。

貧困の連鎖を防ぐための支援強化

生活困窮者への支援は、生活保護による経済的支援をはじめさまざまな支援がなされてきました。最近では困窮世帯の抱える課題が多岐にわたり、複数の課題を抱える相談者が増加しています。生活困窮世帯の子どもは、ソーシャルスキルや生活面の課題を抱えている場合が多く親の養育に関する課題が大きくかかわっています。今後は、困窮に至る問題が深刻になる前の相談支援の体制を強化していくことが重要です。

市営住宅のうち耐用年限を迎えている住宅が 220 戸あり、全体の4割近くを占めています。大規模な災害から入居者の生命と財産を守るための取組が必要です。

●施策

1. 健康保険(国民健康保険・後期高齢者医療)

2. 生活困窮者の支援
3. 介護保険
4. 国民年金

●施策1 健康保険(国民健康保険・後期高齢者医療)

◎まちづくり目標

国民皆保険制度を担う医療保険として、被保険者の健康づくりや疾病予防の推進により医療費適正化を図り「健康寿命の延伸」を目標とします。

◎具体的な取り組み

・医療費の適正化

健診等の受診率向上や生活習慣病対策などにより、健康の保持・増進を目指し、レセプト・過誤請求の点検強化や後発医薬品の使用促進により、適正な保険給付に努めます。

・健康保険事業の健全化

国民健康保険事業の健全化と後期高齢者医療制度の適正な運営を行うことで、健康保険の充実と高齢者福祉の充実を図ります。

◎まちづくりポイント

まちづくりポイント	単位	基準値		目標値
		年度	数値	2024 年度
特定健康診査受診率	%	28	43.5	60
特定保健指導実施率	%	28	18.6	60
一人あたり保険給付費(保険給付費/ 年度平均被保険数)		28	371	

◎関連計画

- ・三豊市国民健康保険第2期データヘルス計画
- ・三豊市国民健康保険第3期特定健康診査等実施計画
- ・三豊市健康増進計画
- ・三豊市食育推進計画

●施策2 生活困窮者の支援

◎まちづくり目標

生活困窮者への包括的な支援を行い、誰もが安定的で健康な暮らしを送ることができるまちづくりに努めます。

◎具体的な取り組み

・支援体制の強化

行政窓口と地域の連携と相談体制の充実により、要支援者を早期に発見し、関係機関との情報共有を図りながら、自立に向けて必要な支援を行います。

・自立に向けた支援

困窮の程度に応じた経済的支援などの保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、包括的な相談対応や自立に向けたプランの作成支援を行うほか、地域の関係機関のネットワークづくりを行います。

・安定的な暮らしの提供

経済的理由により、住居を失ったまたはそのおそれがある者に対して住居確保給付金の支給や住居の提供を行います。

また、居宅での養護が困難な高齢者を養護老人ホームに入所させる等の適正な措置を行います。

・扶助費の適正化

収入資産調査を強化により、適正な生活保護認定を行い、レセプト点検を強化することで、頻回・重複受診の分析を行い、必要な指導を行うことで医療扶助の適正化を図ります。

◎まちづくりポイント

まちづくりポイント	単位	基準値		目標値
		年度	数値	2024 年度
生活困窮者自立支援法に基づく情報提供・相談	件	29	35	50
生活保護の開始	件	29	27	20

◎関連計画

・三豊市市営住宅長寿命化計画

・

●施策3 介護保険

◎まちづくり目標

介護保険の関係事業者・団体との連携を強化し、居宅サービス・地域密着型サービス・施設サービスの基盤整備を図り、質の高い、充実したサービスの提供に努めるとともに、介護予防及び居宅介護を重視した介護保険制度の健全な経営と円滑な運営を図るため、増加を続ける介護給付費の適正化等を積極的に推進します。

◎具体的な取り組み

・介護保険事業の健全化

国民健康保険事業の健全化と後期高齢者医療制度の適正な運営を行うことで、健康保険の充実と高齢者福祉の充実を図ります。

◎まちづくりポイント

まちづくりポイント	単位	基準値		目標値
		年度	数値	2024 年度
要介護等認定者数(率)	%	29		

◎関連計画

・三豊市高齢者福祉計画第7期介護保険事業計画

●施策4 国民年金

◎まちづくり目標

老齢、障害または死亡によって国民生活の安定が損なわれることを、国民の共同連帯によって防止し、もって健全な国民生活の維持及び向上に寄与するという国民年金制度への正しい知識と認識を深めるとともに、制度の充実を図っていきます。

◎具体的な取り組み

・各種届出に対する適正な事務対応

国民年金への加入・変更・免除などの各種届出と給付に関する請求書などの受理・審査関連事務を正確に行います。

・広報・啓発活動の実施

国民年金制度についての正しい知識と認識を深めていくため、日本年金機構善通寺年金事務所との連携のもと、制度についての広報・啓発活動や年金相談の充実に努めます。

◎まちづくりポイント

まちづくりポイント	単位	基準値		目標値
		年度	数値	2024 年度
国民年金相談実施回数(人)	回(人)	29	18(191)	18(200)

◎関連計画

・